

# 我が事・丸ごと

## 地域共生社会

～ 第1回 高松型地域共生社会 ～

### 高松が抱える課題

現在、人口減少や少子高齢化が進む中、介護と育児が同時に直面する「ダブルケア」や高齢の親とひきこもりの子が同居する家庭の貧困や孤立といった「8050問題」など、地域の生活課題は複合化・複雑化しており、これまでの「子育て」や「介護」「障がい」など、それぞれの分野ごとに設計されてきた縦割り制度だけでは対応が難しくなっています。

また、核家族世帯の増加や近所付き合いの希薄化などから、困りごとがあっても、身近に相談できる相手や場所がなく、支援の手が行き届かない状況も起き始めています。

そうした中、制度・分野の枠や「支える側」「支えられる側」というこれまでの関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人一人が生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる、包摂的なコミュニティ、地域や社会を創っていく「地域共生社会」という考え方が重要視されています。

### 高松型の地域共生社会

高松市では、市の重点施策として平成30年度から住民主体の「地域コミュニティ協議会」や地域における行政組織の中核である「総合センター」など、本市の特徴を活かした「地域共生社

高松市では「ほっとけん市民みんなでつくるほっとかんまち 高松。」をスローガンに福祉などの地域生活課題を解決する「地域共生社会の構築」を目指しています。

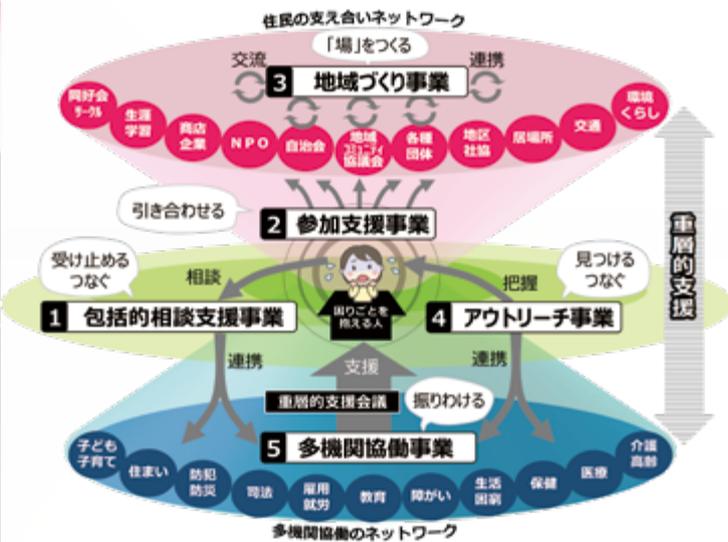
そこで、広報高松では、今月号から地域共生社会の実現に向けた本市の取り組みや仕組みについて紹介していきます。誰もが幸せに暮らせる社会の実現に向けて、自分にできることは何か、考えてみませんか。

会の構築」に取り組んでおり「地域のみんなで助け合う仕組みづくり」など3つの基本目標を掲げています。

その中で、福祉のお困りごとをしっかりと受け止め、支援につなげる「まるごと福祉相談員」を市内全域に配置するなど、包括的な支援体制を整備しています。

基本目標

- 1 地域のみんなで助けあひつくり
- 2 話しやすい身近な相談支援
- 3 暮らしのどんな困りごとにも対応できる仕組みづくり



事業名	
1 包括的相談支援事業	地域包括支援センター運営
	相談支援事業
	利用者支援事業
	自立相談支援事業
2 参加支援事業	参加支援事業
	地域介護予防活動支援事業
3 地域づくり事業	生活支援体制整備事業
	地域活動支援センター事業
	地域子育て支援拠点事業
	共助の基盤づくり事業
4 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
5 多機関協働事業	多機関協働事業

国の重層的支援体制整備事業

さらに、今年度からは「包括的相談支援事業」や「参加支援事業」など5つの事業を一体的に行う国の「重層的支援体制整備事業」を活用しながら「高松型地域共生社会」の実現を目指しています。

次号から、高松型地域共生社会を実現するための5つの事業について、インタビューなどを交えながら紹介していきます。

お問い合わせ  
健康福祉総務課  
地域共生社会推進室  
839・2372